

令和3年度下半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

所管課	ぎふ魅力づくり推進部 市民スポーツ課		
指定管理者名	ぎふ南スポーツコミュニティ		
指定期間	<input checked="" type="checkbox"/> 平成29年4月1日 ~ 令和4年3月31日		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	6館及び2プール一括 167,872,933円(当初) 154,846,109円(精算後)		
施設の設置目的	スポーツを振興し、市民の心身の健全な発達を図るため		
施設名	(1)岐阜市民総合体育館	所在地	岐阜市九重町4-24
施設概要	開設年月 昭和45年10月 競技場(40m×27m) バスケットボール2面、バレーボール2面、バドミントン6面、卓球20台 卓球場、剣道場、柔道場、相撲場、格技場、トレーニングルーム、第2トレーニングルーム、弓道場、射撃場		
施設名	(2)岐阜市岐陽体育館	所在地	岐阜市上川手735-2
施設概要	開設年月 平成12年4月 競技場(31.5m×28m) バスケットボール1面(練習2面)、バレーボール2面、バドミントン6面		
施設名	(3)岐阜市南部スポーツセンター	所在地	岐阜市南鶉5-86
施設概要	開設年月 昭和54年5月 競技場(36m×34m) バスケットボール2面、バレーボール2面、バドミントン8面、テニス2面、卓球16台 柔道場、剣道場、トレーニングルーム、グラウンド・ゴルフ場		
施設名	(4)岐阜市東部体育館	所在地	岐阜市芥見4-68
施設概要	開設年月 昭和59年6月 競技場(36m×34m) バスケットボール2面、バレーボール2面、バドミントン8面、テニス3面、卓球16台 体育室		
施設名	(5)岐阜市西部体育館	所在地	岐阜市南鏡島2-76
施設概要	開設年月 昭和60年6月 競技場(36m×34m) バスケットボール2面、バレーボール2面、バドミントン8面、テニス2面 卓球場、柔道場、剣道場、トレーニングルーム		
施設名	(6)岐阜市もえぎの里多目的体育館	所在地	岐阜市柳津町下佐波西1-41
施設概要	開設年月 平成28年7月 競技場兼集会場(36m×24m)・ステージ(204.07㎡) もえぎの里3階 アリーナ、トレーニングルーム		
施設名	(7)岐阜市南部市民プール	所在地	岐阜市南鶉4-120
施設概要	開設年月 昭和55年7月 一般プール(25m×20m・10コース) ・ 幼児プール(414㎡)		
施設名	(8)岐阜市本荘市民プール	所在地	岐阜市寿町2-13
施設概要	開設年月 昭和55年7月 一般プール(25m×14m・6コース) ・ 幼児プール(70.88㎡)		

●利用状況

(1) 岐阜市民総合体育館		R3 下半期	R3 上半期	R2 下半期	R2 上半期	R1 下半期
利用者数(単位:人)		6,550	24,142	27,724	18,297	46,245
各室稼働状況(%)	競技場	34.5	45.9	68.4	45.0	77.2
	剣道場	15.3	19.5	30.2	16.6	34.5
	柔道場	8.7	11.7	16.5	5.1	23.5
	格技場	9.5	13.0	12.0	8.4	23.1
(2) 岐阜市岐陽体育館		R3 下半期	R3 上半期	R2 下半期	R2 上半期	R1 下半期
利用者数(単位:人)		14,302	7,863	9,803	7,065	12,816
各室稼働状況(%)	競技場	71.8	45.9	78.0	49.2	74.4
(3) 岐阜市南部スポーツセンター		R3 下半期	R3 上半期	R2 下半期	R2 上半期	R1 下半期
利用者数(単位:人)		22,252	13,736	17,503	11,820	29,843
各室稼働状況(%)	競技場	77.1	66.5	86.0	61.3	90.4
	剣道場	23.1	36.8	55.2	27.4	45.0
	柔道場	43.2	16.8	20.2	12.1	23.4
	テニスコート(人)	—	—	—	—	289
	グラウンド・ゴルフ場(人)	132	14	12	89	—
(4) 岐阜市東部体育館		R3 下半期	R3 上半期	R2 下半期	R2 上半期	R1 下半期
利用者数(単位:人)		15,626	10,329	6,878	9,239	21,199
各室稼働状況(%)	競技場	70.5	54.2	43.0	54.3	86.2
	剣道場	36.1	30.0	19.7	31.2	54.9
(5) 岐阜市西部体育館		R3 下半期	R3 上半期	R2 下半期	R2 上半期	R1 下半期
利用者数(単位:人)		27,905	16,703	20,439	12,757	36,313
各室稼働状況(%)	競技場	83.5	56.0	83.5	59.5	94.4
	剣道場	28.3	16.6	25.0	10.6	34.6
	柔道場	16.6	6.7	7.1	5.6	17.6
(6) 岐阜市もえぎの里多目的体育館		R3 下半期	R3 上半期	R2 下半期	R2 上半期	R1 下半期
利用者数(単位:人)		23,638	15,213	20,520	12,660	37,524
各室稼働状況(%)	競技場	67.3	52.0	70.4	54.7	83.8
	アリーナ	69.0	51.7	74.1	49.2	81.6
(7) 岐阜市南部市民プール		R3 下半期	R3 上半期	R2 下半期	R2 上半期	R1 下半期
利用者数(単位:人)			9,698		6,782	
各室稼働状況(%)						
(8) 岐阜市本荘市民プール		R3 下半期	R3 上半期	R2 下半期	R2 上半期	R1 下半期
利用者数(単位:人)			3,414		2,811	
各室稼働状況(%)						
利用者数合計(単位:人)		110,273	101,098	102,867	81,431	183,940

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①供用日・供用時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④利用者からの意見を聞くためアンケートボックスの設置 ⑤苦情への対応	①遵守しており、適切な運用に努めている。 ②利用者サービスの提供に支障のない適切な人員配置となっている。業務を適切に遂行できるよう、適宜研修を実施している。 ③ホームページや広報誌等の媒体を活用した広報活動を実施している。 ④アンケートボックスを設置し、利用者からの意見聴取に取り組んでいる。 ⑤苦情や要望に対し、適切に対応している。なお、各館長が共通認識を持てるよう「館長会」を行い、各館統一見解により業務にあたっている。
指定事業・自主事業	【指定事業の実施】 体育館スポーツ教室、体育館デー 【自主事業の実施】 【スポーツ事業助成の実施】	【指定事業】 令和3年度第2回スポーツ教室、体育館デー共に新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止。 【自主事業】 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、一部中止した。 〈開催〉 ・各種団体との連携事業FIATCUP(36チーム、延べ300人参加) ・スポーツ教室講師研修会(11人参加) 〈中止〉 ・総合体育館50周年記念事業 ・岐阜市長杯グラウンドゴルフ大会 ・各種団体との連携事業 健康運動教室 ・障がい者スポーツ支援事業 ・スポーツ教室支援事業 バレーボール交流会 【スポーツ事業助成】 ・申請件数1件 助成決定1件
施設管理	①日常・定期清掃業務 ②警備業務 ③施設・設備点検業務 ④消防用設備保守点検 ⑤電気工作物保安管理業務	①日常清掃、定期清掃を適切に実施している。なお、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、委託業者によるドアノブ等の消毒を定期的実施し、施設の衛生管理に努めている。 ②警備業務(機械警備)は適切に実施している。 ③施設・設備点検業務は適切に実施している。 ④消防用設備保守点検は適切に実施している。 ⑤電気工作物保安管理業務は適切に実施している。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ・迅速な修繕の実施 ・指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	上級体育施設管理士のノウハウ及び職員による施設内外の目視巡回点検等から修繕箇所を把握し、適切な修繕を行った。 【修繕の実施】38件 4,137,304円 【主な修繕】 ・中庭モルタル落下防止ネット取付修繕(総合体育館) ・トレッドミル修繕(南部スポーツセンター)
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①各種研修を実施し、関係法令を遵守した運営を行っている。 ②非常時に迅速に対応できるよう努めている。 ③条例等を遵守し、適切に対応している。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	①<団体利用者アンケート> ・施設利用者にアンケートを配布し、計画的に実施している。 ②<個人利用者アンケート> ・広く意見等を収集できるよう、各体育館においてアンケート週間を実施した。(10月18～24日)
利用者アンケートの実施結果	①「利用者アンケート」(団体利用)の大変満足・満足の割合 【回収枚数】 6,088枚 【楽しく活動できましたか】 89.3% 【職員の対応は、いかがでしたか】 87.0% 【施設環境は、いかがでしたか】 88.3% ②利用者満足度アンケートの大変満足・満足の割合 【回収枚数】 633枚 【施設は使いやすかったですか】 77.3% 【施設や設備に不備はありませんでしたか】 72.7% 【施設的美観は保たれていましたか】 75.5% 【職員は丁寧に対応しましたか】 81.7%
利用者からの要望・苦情と対処・改善	<主な意見> ・競技場A面西南フロアーに浮きがあります。(南部) ⇒職員が現状を確認し、業者による修繕を行いました。 ・前の団体が暗幕を閉めたまま帰った。(岐陽) ⇒施設利用者に、施設の利用方法の周知を徹底しました。 ・隣のコートで学生が窓も開けず、大声でバレーボールをしていたので不愉快に感じました。(岐陽) ⇒施設利用者に、施設の利用方法の周知を徹底しました。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	(1) 平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	平等利用を確保するための体制が整えられているか。またそのためのモニタリングが実施されているか。	S	A	A
		(2) 情報公開、広報の方策	幅広く市民に適切な情報公開がなされているか。	A	A	A
		(3) 個人情報保護のための方策	個人情報の保護についての管理対策が適切に実施されているか。	A	A	A
		(4) その他指定管理者の提案によるもの	必要に応じて、公平性、透明性を配慮した独自の取り組みを計画・実施しているか。	A	A	A
		区分評価				
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	(1) 既存業務の改善、工夫又は新規の魅力的な提案の有無、内容	業務内容を常に見直し、事業改善に取り組んでいるか。	A	A	A
		(2) 利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	利用者ニーズ等を把握するための方策を実施しているか。また苦情等の再発防止策を講じているか。	A	A	A
		(3) 利用者に対するサービス向上の方策	設備整備など、利用者の利便性・満足度向上に向けた方策が提案・実施されているか。	S	S	S
		(4) 利用促進、利用者増の方策	魅力ある教室・講座等の実施に向け、積極的な広報活動により、利用者の拡大を図っているか。	A	A	A
		(5) サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど	寄せられた意見に対して、適切に対応し、運営に反映しているか。	A	A	A
		(6) 施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	管理運営組織を整え、適正な人員配置が行われているか。	S	S	S
		(7) その他指定管理者の提案によるもの	必要に応じて、施設の効用(設置目的)を最大限発揮する取り組みの提案・実施ができているか。	A	A	A
		区分評価				
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の削減が図られるものであること	(1) 指定管理経費の妥当性(サービスとコストのバランスなど)	利用者の安全と快適性を確保した上で経費削減の実施がなされているか。	A	A	A
		(2) 収支計画の妥当性	適正な収支配分計画となっているか。	A	A	A
		(3) 管理経費削減の具体的方策	具体的な経費削減の方策を掲げ、管理経費の削減が図られているか。	S	S	S
		(4) スタッフ配置の妥当性	過不足なく適正な人数を配置し、無理のないスタッフ体制となっているか。	A	A	A
		(5) その他指定管理者の提案によるもの	設置目的に沿った、健全で安定した中でのコスト削減が図られているか。	A	A	A
		区分評価				
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	(1) 経営基盤の安定性	安定した財務状況のもと、指定管理業務に取り組んでいるか。	A	A	A
		(2) 組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	施設の運営に必要なノウハウを有した人材を確保しているか。	S	A	A
		(3) スタッフの管理、監督体制	スタッフの管理は適切に行われているか。また、管理・監督が適正に行える体制が整備されているか。	A	A	A
		(4) スタッフの人材育成の方策	安定した施設運営を図るため、各種規定に基づき人材育成が図られているか。	A	A	A
		(5) リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	事故、災害等緊急時の対策、対応は適切に図られているか。また、防犯に対する対策は適切か。	S	A	A
		(6) リスクへの対応能力(資金力、損害賠償能力など)	リスクへの対応能力を確保しているか。	A	A	A
		(7) その他指定管理者の提案によるもの	必要に応じた連携体制の構築がされているか。	A	A	A
		区分評価				
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	(1) 地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)	地域と連携、協働し、施設の管理運営にあたっているか。	A	A	A
		(2) 地元の住民、高齢者、障害者等の雇用	地元住民の雇用促進に資する対応が図られているか。	A	A	A
		(3) 地元での資材等の調達	地域発展のため地元業者からの調達を推進しているか。	A	A	A
		(4) 地元での社会活動等への参加	地元の社会活動への協力と参加が図られているか。	A	A	A
		(5) その他指定管理者の提案によるもの	必要に応じて、地元の振興・活性化等、貢献が図られているか。	A	A	A
		区分評価				

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

<p>今期の取組みに対する評価</p>	<p>【公平性・透明性】 ■平等利用を確保するための体制、モニタリングなど ・総合体育館の平等利用を確保するため、屋内及び屋外の施設利用に係る年間調整担当者を配置した。 ・屋内体育施設の年間調整については体育館の特性を職員が理解したうえで、団体の希望に沿えるよう担当者で打合せを重ねた。また、日曜日や祝日等を年間調整で埋まらないよう一般利用団体にも配慮したうえで、長良川以北地域体育館との連携を図りながら1,161件の調整を実施した。 ・屋外体育施設は、有料・無料のほか夏季と冬季で使用時間が異なっている。そのような特性を理解したうえで、団体の希望に沿えるよう「意見を聴く会」を開催し、参加者の希望を考慮しながら日程を調整した。また、地域の体育振興会、自治会連合会の行事に配慮した。さらに、日曜日や祝日等が年間調整で埋まらないよう一般団体にも配慮をして、3,155件の調整を実施した。</p> <p>【効果性】 ■利用者に対するサービス向上の方策 ・総合体育館は、11月1日～3月31日まで非構造部材耐震補強工事により休館した。そのため、利用者より休館中に卓球ができる場所を確保して欲しいと要望が多かったため、市と協議した結果、岐陽体育館競技場に卓球台を新たに6台設置した。これにより、岐陽体育館でも卓球ができるようになり、サービス向上に努めることができた。なお、4月以降も引き続き卓球台を設置することで、利用者サービスの向上に努める。 ・総合体育館のテッドスペースとなっていた中庭を、休憩スペースとして有効活用するために整備した。また、災害時にタンカーとして利用できるレスキューベンチを5台設置した。 ・総合体育館において、外国人による利用が増えてきたため、「日本語」「英語」「中国語」の3か国表記及び子どもから高齢者まで誰でも分かるような「ピクトグラム」の案内板を新たに設置した。今後は他の体育館においても多言語表記及びピクトグラムの案内板設置を進めていく。 ・以前から要望のあった南部スポーツセンターのトレーニングルームに、新たに全身が確認ができる大型壁面鏡を設置した。ストレッチやダンベルを使用したエクササイズやトレーナーの指導に有効活用されサービスの向上に繋がった。 ・冬季北京オリンピック開催時に、ポスターや地元出身者の活躍の新聞記事を掲示することで、利用者の応援機運を高めた。 ・事業団の自主財源を活用し、誰でも気楽にウォーキングが楽しめるノルディックウォークのポール60セットを購入し、各体育館で貸出ができるように環境を整えた。今後は、地域のイベントなどに貸し出しを進めていく。 ・事業団の自主財源を活用し、東京パラリンピックにおいて日本選手が金メダルを取ったことで注目が集まったポッチャー競技の用具を2セット購入し、障がい者スポーツの環境整備に努めた。今後は、スポーツ教室やイベント、各種団体との連携事業等での活用を進めていく。 ・総合体育館の休館中において、他の体育館に案内するための地図を用意し、案内した。また、総合体育館のスポーツプログラマーを西部体育館に定期的に派遣し、在室状況をHP等にて案内した。</p> <p>■施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置 ・総合体育館のスポーツプログラマーを西部体育館トレーニングルームに定期的に派遣した。スポーツプログラマーならではの専門的な知識を伝え、利用者の健康維持の向上に繋がった。その結果、西部体育館では上半期(4～9月)は1,582人から下半期(10～3月):2,856人になり、上半期比べ1,274人(約180%増)の利用者増に繋がった。</p> <p>【効率性】 ■管理経費削減の具体的な方策 ・事業団の自主財源を活用し、稼働率の高い総合体育館の第一トレーニングルームの照明をLED化し、電気の経費削減を図った。 ・各体育館競技場の暗幕吊り金具の外れや調子の悪い照明器具の不点灯交換などの軽微な修繕は、業者に依頼せず、職員で行い、経費の削減を図った。 ・敷地内の植木の剪定や清掃作業等を業者に依頼せず、職員で行い経費の削減を図った。</p> <p>【安定性・安全性】 ■組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等 ・日本スポーツ協会公認ジュニアスポーツ指導員(1名)、岐阜市スポーツ指導員(2名)の資格を新たに取得した。</p> <p>■リスクへの対応方策(防止策、非常の対応マニュアルなど) ・定期的なドアノブ等の消毒や、ロビー及びトレーニングルームへの消毒液の設置等を行い、利用者の新型コロナウイルス感染症感染防止に努めた。 ・体育館の老朽化に伴い、館内の不具合箇所がないか目視巡回の回数を増やしている。特にトレーニングルームのある体育館については、職員による日常点検に加え、専門業者の点検を実施し、利用者の安全確保に努めた。 ・総合体育館の休館中を利用し、利用者のけが等の防止のため、以下の修繕等を行った。 ①中央階段室の壁面塗装修繕及び手すり部分の塗り替え ②競技場床面の補修及びワックス塗布</p>
---------------------	--

<p>前回までの意見を踏まえた取組み状況</p>	<p>所管課の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の管理運営は概ね適切に実施されている。利用者ニーズを踏まえたトレーニングルームの機器の配置換えや入替、有資格者による利用者に対するトレーニング方法に関するアドバイスなど、利用者の満足度向上や利用の増加に繋がるものと評価できる。引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を図りながら、安心・安全な施設運営を継続し、更なる利用促進を図られたい。 <p>指定管理者評価委員会の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> トレーニングルームにおける有資格者の配置は評価できる取り組みであり、引き続き、利便性向上に資するスタッフの配置に努められたい。 引き続き、安心・安全な施設運営を継続し、更なる利用促進に努められたい。 <p>【安心・安全な施設運営を継続する取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症対策として、利用者が機器を利用しない時間に職員がトレーニング機器の消毒を実施した。 不特定多数が接触する機会が多いドアノブの消毒を、毎日定期的に行なった。 各体育館の点検により把握した修繕箇所について、優先順位をつけて修繕を実施し、安心安全な施設運営に努めた。 <p>【利用促進に対する取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1回のスポーツ教室にかかる利用者アンケートにおいて、開催時間の変更や種目の拡充として要望の多かった子ども対象の「キッズ卓球」を新年度から新たに追加するよう見直しを行った。 総合体育館の休館中、総合体育館と同じサービスが受けられるようスポーツプログラマーを西部体育館に定期的に派遣し、利用者の利用促進に繋げた。 トレーニング指導を受ける希望者のために、トレーナー在室状況を表示することで、利用者の満足度向上や利用者増に努めた。 総合体育館の休館を利用し、競技場の床面補修・中庭の休憩スペース整備・会議室の壁面塗装・トレーニングルームLED化・卓球場の壁面塗装修繕を実施し、利用者の利用促進に努めた。
<p>今後の取り組み</p>	<p>【利用者の安心・安全を保つ施設運営に向けて】</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の修繕及び施設備品の更新を計画的に実施していくことにより、安心・安全な施設運営を目指す。 新型コロナウイルス感染症感染防止対策は、今後も継続して実施する。 <p>【利用者サービスの向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> より多くの利用者からご意見やご要望をいただくため、年1回のアンケート週間を年2回実施する。いただいたご意見やご要望の中で、すぐ対応できるものは迅速に実施し、より良い施設を目指していく。 事業団の自主財源で購入したノルディックウォークボールの無料貸出を新年度から実施していく。 <p>【利用促進・利用者増の方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の皆さんが生涯にわたりスポーツを楽しめるよう、スポーツ推進連絡協議会等と連携し、各種事業を開催する。 事業団の自主財源で購入したポッチャ用具を使い、障がい者も健常者も一緒に行う事業を実施し、利用促進に繋げる。 エールぎふとの共催で体育館を会場としたレクリエーション交流会を実施し、利用促進に繋げる。 生涯学習「長良川大学」内の出前講座の活動プログラムを開発し、多様なプログラムを提供することで利用促進に繋げる。

●所管課の意見

施設の管理運営は適切に実施されている。
 トレーニングルームへの有資格者の適正配置及び他体育館への定期的な派遣により、西部体育館におけるトレーニングルームの利用者を前年に比べ増加させたことや、総合体育館のデッドスペースの活用、利用者に対してスポーツプログラマーならではの専門的な知識を伝える等、指定管理者としての意識が高く評価できる。
 次期、指定管理期間も利用者ニーズを捉えた運営及び安心・安全な施設管理に努められたい。

●指定管理者評価委員会の意見

トレーニングルームへの有資格者の適正配置及び他体育館への定期的な派遣により、利用者増に繋げたことは評価できる。
 今後は、スポーツプログラマーの資格を活かした方策に努めるとともに、スポーツ教室や自主事業の実施を通じ、施設の更なる利用促進を図られたい。